

令和6年度
事業報告書

自 令和 6年4月 1日
至 令和 7年3月31日

香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1

学校法人大麻学園

令和6年度 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 学園の目的

学校法人大麻学園（以下「学園」という。）は、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、有為な人材を育成することを目的とする。

建学の精神 健康のありがたさを知り、手をもって、伝え広める

教育理念 自立 医療に携わる人として、自ら学び、考え、行動する

信頼 医療に携わる人として、仲間から、患者さんから、社会から信頼を得る

貢献 医療に携わる人として、人々の健康で幸せな生活に貢献する

(2) 設置する学校

学園は、前記（1）の目的を達成するため、次に掲げる学校を設置する。

四国医療専門学校（課程：医療専門課程）

(3) 付随事業

学園は、教育研究事業に付随する事業として、次に掲げる付随事業を行う。

医療、福祉、介護

(4) 本学園の沿革

昭和 31（1956）年 香川県高松市に「香川県指圧学校」創設

昭和 33（1958）年 厚生大臣より、あん摩マッサージ指圧師養成施設として認定

昭和 35（1960）年 厚生大臣より、はり師・きゅう師養成施設として認定

平成 1〃（2000）年 香川県知事より、各種学校として認可

平成 1〃（2000）年 校名を「香川県指圧鍼灸専門学校」と改称

昭和 51（1976）年 香川県知事より、専修学校として認可

昭和 54（1979）年 校名を「四国鍼灸専門学校」と改称

平成 4（1992）年 香川県綾歌郡宇多津町（現在地）に移転

平成 6（1994）年 香川県知事より、準学校法人の認可

平成 9（1997）年 「四国リハビリテーション学院」（理学療法学科、作業療法学科）開設

平成 12（2000）年 四国鍼灸専門学校を「四国医療専門学校」と改称

平成 12（2000）年 鍼灸学科1部、鍼灸学科2部、柔道整復学科1部及び柔道整復学科2部
（2000）年 を開設

平成 18（2006）年 四国医療専門学校と四国リハビリテーション学院を統合し、「四国医療
平成 12（2000）年 専門学校」となる

平成 19（2007）年 看護学科を開設

平成 21（2009）年 スポーツ医療学科を開設

令和 2（2020）年 桃陵クリニックを事業継承し、大麻学園附属桃陵クリニックを開設

令和 5（2023）年 スポーツ医療学科を廃止（※令和5年4月1日付）

訪問看護ステーションファミリアを開設（令和5年9月1日付）

令和 6（2024）年 学校法人設立30周年を迎え、記念式典を実施

令和 7（2025）年 鍼灸学科2部、柔道整復学科2部を廃止（※令和7年3月31日付）

(5) 課程・学科の構成及び学生数の状況 (令和6年5月1日現在) (人)

課程名	学科名	開設年月日	修業年限	入学定員	入学者数	収容定員	在籍者数
医療専門課程	鍼灸マッサージ学科	S33. 3. 28	3	30	30	90	85
	鍼灸学科1部	H12. 4. 1	3	30	6	90	14
	鍼灸学科2部	H12. 4. 1	3	30	—	90	8
	柔道整復学科1部	H12. 4. 1	3	30	12	90	56
	柔道整復学科2部	H12. 4. 1	3	30	—	90	8
	理学療法学科	H 9. 4. 1	4	36	28	144	120
	作業療法学科	H 9. 4. 1	4	30	12	120	85
	看護学科	H19. 4. 1	4	75	37	300	160
	合 計				291	125	1,014

(6) 卒業生動向 (令和6年度卒業生/令和7年5月1日現在) (人)

学科名	卒業生数	関係分野に就職した者	その他の分野に就職した者	摘要
鍼灸マッサージ学科	32	24	2	開業1、未定5
鍼灸学科1部	3	0	1	未定2
鍼灸学科2部	8	4	0	未定4
柔道整復学科1部	14	9	1	進学1、未定3
柔道整復学科2部	4	1	2	進学1
理学療法学科	23	21	0	未定2
作業療法学科	19	18	0	未定1
看護学科	38	35	0	進学2、未定1
合 計	141	110	8	

※併修者は昼間部で計上

(7) 国家試験等合否状況 (令和6年度卒業生)

資格名 (学科名)	受験者数	合格者数	合格率	全国平均 (新卒)	
あま指師 (鍼マ)	32人	28人	87.5%	94.7%	
はり師	(鍼 マ)	32人	25人	78.1%	89.3%
	(鍼1部)	3人	2人	66.6%	
	(鍼2部)	8人	7人	87.5%	
	計	43人	34人	79.1%	
きゅう師	(鍼 マ)	32人	24人	75.0%	89.8%
	(鍼1部)	3人	1人	33.3%	
	(鍼2部)	8人	7人	87.5%	
	計	43人	32人	74.4%	
柔整師	(柔1部)	14人	11人	78.6%	75.9%
	(柔2部)	4人	2人	50.0%	
	計	18人	13人	72.2%	
理学療法士 (理学)	23人	21人	91.3%	95.2%	
作業療法士 (作業)	19人	17人	89.5%	92.5%	
看護師 (看護)	38人	37人	97.4%	95.9%	

(8) 役員の概要 (定数:理事6人、監事2人/令和7年3月31日現在)

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長 (1号理事=学園長)	大麻 正晴	常勤	H19. 4. 1 理事就任 H19. 4. 1 副理事長就任 R 5. 5. 28 理事長就任
理事 (2号理事=学校長)	後藤 修司	常勤	R 2. 9. 18 理事就任 R 4. 4. 1 学校長就任
理事 (3号理事=評議員)	乗松 尋道	非常勤	H17. 4. 1 理事/学校長就任 H26. 3. 31 理事/学校長退任 R 2. 7. 22 顧問就任 R 4. 3. 31 顧問退任 R 4. 4. 1 理事・評議員就任
理事 (3号理事=評議員)	青木みゆき	常勤	H30. 4. 1 評議員就任 R 5. 4. 1 理事就任
理事(4号理事=学識経験者又は学園功労者)	山下 淳二	非常勤	H27. 3. 18 監事就任 H30. 3. 8 監事退任 H30. 3. 18 理事就任
理事(4号理事=学識経験者又は学園功労者)	田幸 正旬	非常勤	H25. 4. 1 評議員就任 R 5. 5. 28 評議員退任 R 5. 5. 28 理事就任
監事	平田 眞一	非常勤	H21. 4. 1 監事就任
監事	高嶋 博	非常勤	H30. 3. 18 監事就任

※再任者については、最初に就任した年月日を記している。

(9) 評議員の概要 (定数:13人/令和7年3月31日現在)

区分	氏名	区分	氏名
1号評議員(職員)	青木みゆき	2号評議員(卒業者)	杉本 良子
1号評議員(職員)	高橋 謙一	2号評議員(卒業者)	成瀬 晴菜
1号評議員(職員)	襖田 和敏	2号評議員(卒業者)	林 広野
1号評議員(職員)	山下久美子	2号評議員(卒業者)	松本 和子
1号評議員(職員)	山本 幸男	3号評議員(学識経験者)	小瀧 歩
2号評議員(卒業者)	白井 直樹	3号評議員(学識経験者)	乗松 尋道

(10) 職員の概要 (令和6年5月1日現在)

	本務者	兼務者	合計
①教 員	52人(男26/女26)	154人(男100/女54)	206人(男126/女80)
②職 員	32人(男11/女21)	6人(男1/女5)	38人(男12/女26)
合 計	84人(男37/女47)	160人(男101/女59)	244人(男138/女106)

2. 令和6年度事業の概要

(1) 主な事業

1) 教育改革の推進

- ① 『プラスα』の教育価値確立のためのファーストステップとして、令和7年度より「防災士」集中ゼミを実施すべく準備を整えた。
- ② 教育の質を担保する独自のカリキュラムマネジメント構築に取り組んだ(令和7年度完成予定)。
- ③ 元サッカー日本代表 李忠成氏を招いての学生を対象とした特別企画公演を開催した。
- ④ 教育の価値確立のための専門研修に加え、教育方法や学生・保護者への対応スキルを学ぶ研修を行った。

2) 主な地域連携活動・ボランティア活動

以下の行事の開催またはボランティア活動に取り組んだ。

【主な学校主催行事】

「夏休み小学生宿題チャレンジ」「うたず〜っと健康フェスタ」「健康教室」「健康サロン」「あそび教室」

【参加したボランティア活動(一部掲載)】

「宇多津町クリーン作戦」「小豆島オリーブマラソンマッサージボランティア」「香川丸亀国際ハーフマラソンコンディショニングブース」「まるがめ学生ボランティアアワード2025」

3) 入学試験関連

(1) 令和7年度生入学者数

出願者数：141名、入学者数：129名

(2) 入学者における「特待生選抜試験」合格者

奨学内容	適用	概要
(1)特待A(年間50万円支給)	1	鍼灸マッサージ学科1
(2)特待B(年間25万円支給)	0	
(3)特待C(年間5万円支給)	3	鍼灸マッサージ学科2、理学療法学科1

4) キャンパス整備

- ① 計画的エネルギー合理化の一環として、2号館校舎及び校舎周辺外灯のLED化を実施。
- ② 地震発生時の二次被害を防ぐため、1号館外壁の安全対策工事を行った。

5) 経営基盤の強化

(1) ブランディングの強化

- ① ブランディングを担当する理事長直轄の部署の設置と異業種取り組み事例の研修参加、ブランディングに関する集合研修により、アウトターブランディング強化に向けた取り組みを行った。
- ② 学校ロゴの作成、プロスポーツチーム『カマタマーレ讃岐』とのスポンサー契約、新規広告媒体を含むブランディング活動を新たに行った。
- ③ Instagramを中心にSNS発信頻度・内容を強化した。

(2) 業務のデジタル化及び業務効率化・ペーパーレス化の推進

- ① ノートPC化によるペーパーレス化の推進
- ② 令和7年度からの勤怠管理のシステム化について検証・準備を行った。
- ③ 支払・会計システム連携とフローの見直し、検証を行った。

(3) 経営資源の活用と適正化

旧三豊工業高校跡地、別館、学生ホール、学生マンション二番館有効活用の検討

- 6) 働き方改革の推進
被用者保険適用拡大、育児介護休業法改正への対応に向け、就業規則・規程を改正した。また、定年年齢延長について、検討を行った。
- 7) 組織活性化計画
- ① 階層別研修として、学校法人会計研修[管理者]・人事評価研修[主任]を実施。
 - ② 事業活動発表会の開催により次年度計画の浸透を図った。
 - ③ 職員人事考課表の改修
 - ④ 法人設立 30 周年記念式典の実施
- 8) 医療事業の拡充
- (1) 附属桃陵クリニック
地域医療への貢献、また将来的な学生の実習の場とするべく改善に取り組んだが、残念ながら 10 月中旬をもって、休止となった。
 - (2) 訪問看護ステーションファミリア
- ① 利用者数の増加に伴い、スタッフの拡充と働き方改善に取り組んだ。
 - ② 令和 7 年度より作業療法学科学生の実習受け入れ態勢を整えた(令和 8 年度からは看護学科学生の実習を受け入れ予定)。

(2) 施設等の状況 (令和6年5月1日現在)

①校地

	総面積	専用	共用	備考
校地	64,939 m ²	64,939 m ²	0 m ²	
	(うち借用 0 m ²)	(うち借用 0 m ²)	(うち借用 0 m ²)	

内訳:

	総面積	専用	共用	備考
校舎敷地面積	10,554 m ²	10,554 m ²	0 m ²	各校舎、本館
運動場	0 m ²	0 m ²	0 m ²	
その他	54,385 m ²	54,385 m ²	0 m ²	別館、学生マンション、学生ホール、無料駐車場、桃陵クリニック、旧三豊工業高校

②校舎等

	総床面積	専用	共用	備考
校舎等	14,370 m ²	14,370 m ²	0 m ²	各校舎、本館

内訳:

	室数	床面積	専用	共用	備考
普通教室	30	2,348 m ²	2,348 m ²	0 m ²	
演習室	5	194 m ²	194 m ²	0 m ²	視聴覚教室、セミナー室
実習室	25	2,569 m ²	2,569 m ²	0 m ²	
講 堂	2	668 m ²	668 m ²	0 m ²	1号館、3号館
保健室	1	42 m ²	42 m ²	0 m ²	5号館
図書室	1	701 m ²	701 m ²	0 m ²	本館
休憩室	5	246 m ²	246 m ²	0 m ²	
臨床実習施設	1	400 m ²	400 m ²	0 m ²	附属施術所 (鍼灸治療院・接骨院)
その他		7,202 m ²	7,202 m ²	0 m ²	
合 計		14,370 m ²	14,370 m ²	0 m ²	

③その他の施設 (学生寮・校外施設等)

	床面積	専用	共用	備考
別 館	3,029 m ²	3,029 m ²	0 m ²	
学生ホール	409 m ²	409 m ²	0 m ²	テナント部分を含む
学生マンション土器	1,564 m ²	1,564 m ²	0 m ²	
学生マンション二番館	2,651 m ²	2,651 m ²	0 m ²	建物1棟賃借
学生マンション三番館	2,302 m ²	2,302 m ²	0 m ²	
桃陵クリニック	719 m ²	719 m ²	0 m ²	多度津町
旧三豊工業高校	10,149 m ²	10,149 m ²	0 m ²	観音寺市

3. 財務の概要

(1) 学校法人会計について

学校法人は教育研究活動を目的とし、経費の多くは学生生徒等からの納付金や国民の税金を原資とした補助金等で賄われていることが多く公共性の高い法人であることから、教育研究活動の永続性・安定性を保つことが求められています。

本校は大学等と異なり、私立学校振興助成法による公的補助はありませんが、大学等と同様に学校法人会計基準という合理的・客観的なルールのもとに会計処理を行っています。

① 企業会計との違い

一般企業は利益の追求や配当を目的としていますので、会計においても営業年度の成果を計算書類に表し、財政状況を知ること、収益をより高めていく目的で作成されています。一方、教育研究活動を事業目的としている学校法人は収益を高めるのではなく、教育研究活動が将来にわたって安定的に遂行されていくかという点に重きが置かれます。ですので、会計においても、教育の質を高め維持し、かつ教育活動を永続させるために、収支バランスを意識しつつ財務状況を正確に把握する仕組みとなっています。

② 計算書類の種類

学校法人会計基準に基づき、以下の3つの計算書類の作成が必要とされています。

▶ 貸借対照表

年度末における資産・負債・純資産の残高を表示し、その年度末での学校法人の財政状態が健全かどうか、また教育活動に必要な資産の保有状況を示すものです。収支計算書は1年間の数値の集計ですが、貸借対照表は学校法人設立以来の累積の数値になっています。企業会計の貸借対照表とほぼ同じで、バランスシート(B/S)と言われます。左側に「資産」、右側に「負債」と「純資産」をバランスさせ、資産に占める負債の割合が多ければ、財政状態は不健全、逆に純資産の割合が多ければ、財政状態は健全と言えます。

▶ 資金収支計算書

1年間の諸活動のすべての収入と支出の内容や現預金のすべての収入と支出のてん末を明らかにするもので、企業会計のキャッシュフロー計算書に近いものです。家計簿のイメージがわかりやすいかもしれませんが、しかし、実際の現預金の動きに加え、その年度で発生はしているが、その年度での現金の動きがない取引も含んでおり、それを期末未収入金や期末未払金など「資金収支調整勘定」によって取り消し計算するところが学校会計の資金収支計算書に特有な処理となっています。

▶ 事業活動収支計算書

1年間の事業活動における収入と支出の均衡状態を明らかにするもので、企業会計の損益計算に該当するものです。事業活動収入と事業活動支出の差額が企業会計でいう当期利益・当期損失に該当し、学校会計では「基本金組入前当年度収支差額」といいます。企業と異なり儲けを出すことが学校法人の目的ではありませんが、当年度収支差額の赤字が続くと運営に支障をきたしますので、適度な収支差額のプラスは必要とされています。事業活動収支計算書は以下の3つの事業活動ごとに収支状況を表すようになっています。

● 教育活動収支

学校法人の経常的な事業活動収入と事業活動支出の内、教育活動外収支に係る事業活動収入と事業活動支出を除いたもので、本業である教育活動の収支バランスを判断することができます。

● 教育活動外収支

資金調達や資産運用などの財務活動や収益事業活動にかかる事業活動収入と事業活動支出は教育活動外収支として計上されます。なお、教育活動収支と教育活動外収支を合わせて『経常収支』と呼んでいます。

● 特別収支

特殊な要因によって一時的に発生した臨時的な事業活動収入と事業活動支出は特別収支として計上されます。

③ 計算書類の科目について

▶ 貸借対照表の科目

固定資産	土地・建物・教育研究用の機器備品・図書等の「有形固定資産」、退職金の支払いや将来的な施設拡充のために保有する「特定資産」、長期で保有する有価証券などの「その他の固定資産」で構成されています。
流動資産	現預金や翌年度の収入となる未収入金、短期で保有する有価証券などが計上されています。
固定負債	返済期日が1年以内に到来しない長期借入金や退職給与引当金が計上されています。
流動負債	未払金・前受金・預り金などが計上されています。
基本金	学校法人が教育研究活動のために必要な資産を保持するための金額が計上されています。
繰越収支差額	各年度の収支差額(事業活動収入－事業活動支出)は事業活動収支計算書にて計算・表示されますが、貸借対照表は、その累積額が表示されています。

▶ 資金収支計算書の科目

【収入】

学生生徒等納付金収入	入学金・授業料・実験実習料等学生からの納付金収入
手数料収入	入学試験の検定料・在学証明書発行手数料等
寄付金収入	寄贈者から贈与された金銭
補助金収入	国や地方公共団体から交付される補助金
資産売却収入	不動産や有価証券等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	クリニック等附属施設の事業収入
受取利息・配当金収入	預金等の利息や株式等の配当金
雑収入	施設等の利用料や学校法人に属する上記以外の収入
前受金収入	翌年度入学予定の学生に係る入学金収入
その他の収入	前年度末未収入金の当期における収入や預り金収入等
資金収入調整勘定	補助金や診療報酬等の未収入額や前年度末に前受金として計上した収入金
前年度繰越支払資金	前年度から繰り越した現預金

【支出】

人件費支出	役員・教職員等に支給する給与等や非常勤講師料の支出
教育研究経費支出	教育研究活動や学生の学修支援等の経費支出
管理経費支出	総務・経理等の間接経費や学生募集のための広報費など教育研究経費以外の経費支出
借入金等利息支出	借入金等に対する利息の支出
借入金等返済支出	借入金等の返済支出
施設関係支出	土地や建物、構築物等の支出
設備関係支出	教育研究用の機器備品や図書等購入の支出
資産運用支出	有価証券の購入支出や各特定預金へ積み立てる支出
その他の支出	前年度末未払金の当期における支出や預り金支出等
資金支出調整勘定	当年度に発生した未払金や前年度末に前払いした金額
翌年度繰越支払資金	翌年度に繰り越す現預金

➤ 事業活動収支計算書の科目

※資金収支計算書科目と同じ内容が多いので、異なる点のみ記載しています。

【教育活動収入・支出】

経常費等補助金	施設設備拡充等の目的以外で、国や地方公共団体から交付される補助金
教育研究経費・管理経費 [減価償却額]	時の経過により価値が減少する有形固定資産の減価償却額も計上しています。減価償却額は資金の支出を伴わない経費となり、教育研究経費・管理経費にそれぞれ含まれています。

【特別収入・支出】

資産売却差額	不動産や有価証券の売却収入が帳簿価額を超える場合の超過額を計上しています。
その他の特別収入	施設設備拡充等の目的で、国や地方公共団体から交付される補助金、過年度の修正額収入、外貨の換算益を計上しています。
資産処分差額	売却資産の帳簿価額が不動産や有価証券の売却収入を超える場合の超過額を計上しています。
その他の特別支出	過年度の修正額支出を計上しています。

(2) 貸借対照表 (令和7年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部	
科目	金額
固定資産	7,051,577,920
有形固定資産	2,665,154,435
特定資産	2,342,889,060
その他の固定資産	2,043,534,425
流動資産	1,074,811,566
資産の部合計	8,126,389,486
負債の部	
科目	金額
固定負債	341,354,120
流動負債	64,072,404
負債の部合計	405,426,524
純資産の部	
科目	金額
基本金	6,071,885,797
繰越収支差額	1,649,077,165
純資産の部合計	7,720,962,962
負債及び純資産の部合計	8,126,389,486

(3) 資金収支計算書 (令和6年4月1日～令和7年3月31日現在)

(単位:円)

収入の部	
科目	金額
学生生徒納付金収入	670,809,340
手数料収入	5,199,100
寄付金収入	760,000
補助金収入	44,745,755
資産売却収入	400,000
付随事業・収益事業収入	49,469,352
受取利息・配当金収入	55,096,802
雑収入	13,990,551
借入金等収入	0
前受金収入	38,100,000
その他の収入	380,150,563
資金収入調整勘定	△118,171,416
前年度繰越支払資金	1,485,811,089
収入の部合計	2,626,361,136
支出の部	
科目	金額
人件費支出	518,996,420
教育研究費支出	195,727,616
(うち、奨学費支出)	(42,022,300)
(うち、医療経費支出)	(12,971,374)
管理経費支出	86,311,841
借入金等利息支出	582,415
借入金等返済支出	10,200,000
施設関係支出	15,225,155
設備関係支出	9,812,637

資産運用支出	474,959,588
その他の支出	302,492,716
資金支出調整勘定	△27,737,913
翌年度繰越支払資金	1,039,790,661
支出の部合計	2,626,361,136

(4) 事業活動収支計算書 (令和6年4月1日～令和7年3月31日現在) (単位:円)

		科目	金額
		収入の部	学生生徒納付金
教育活動収支	事業活動	手数料	5,199,100
		寄付金	860,000
		経常費等補助金	44,745,755
		付随事業収入	49,469,352
		雑収入	13,945,750
		教育活動収入計	785,029,297
		支出の部	人件費
事業活動	教育研究費	261,539,473	
	(うち、奨学費)	(42,022,300)	
	(うち、医療経費)	(13,356,196)	
	管理経費	95,082,104	
教育活動支出計	875,617,997		
教育活動収支差額	△90,588,700		
教育活動外収支	収入の部	科目	金額
		受取利息・配当金	55,342,596
		教育活動外収入計	55,342,596
	支出の部	科目	金額
		借入金等利息	582,415
教育活動外支出計	582,415		
教育活動外収支差額	54,760,181		
経常収支差額	△35,828,519		
特別収支	収入の部	科目	金額
		資産売却差額	0
		その他の特別収入	44,801
	特別収入計	44,801	
	支出の部	資産処分差額	729,213
		その他の特別支出	1,780,532
特別支出計		2,509,761	
特別収支差額	△2,464,960		
基本金組入前当年度収支差額		△38,293,479	
基本金組入額合計		0	
当年度収支差額		△38,293,479	
前年度繰越収支差額		1,687,370,644	
翌年度繰越収支差額		1,649,077,165	

(5) 財産目録

財産目録

(令和7年3月31日現在)
学校法人大麻学園

I. 資産総額	8,126,389,486 円
1. 基本財産	7,051,577,920 円
2. 運用財産	1,074,811,566 円
II. 負債総額	405,426,524 円
III. 正味財産	7,720,962,962 円

【1. 資産】

1. 基本財産

(1) 土地

種別	所在地	面積(m ²)	取得価額(円)	備考
校舎敷地	宇多津町浜五番丁62-1 他6筆	16,009	1,021,729,260	
駐車場	九亀市土器町東9丁目282番 他1筆	2,769	144,269,846	
診療所敷地	多度津町本通2丁目甲652-1 他5筆	1,533	99,450,035	
その他	九亀市土器町東5丁目817番地 他3筆	1,693	26,505,738	
計		22,004	1,291,954,879	

(2) 建物

種別	所在地	面積(m ²)	取得価額(円)	減価償却額(円)	帳簿価額(円)	備考
校舎	宇多津町浜五番丁62-1 他	17,662	1,954,446,222	48,563,704	828,641,760	
校舎附属設備	-	-	393,741,676	9,510,551	79,494,083	
診療所	多度津町本通2丁目甲652-1 他	719	59,028,614	2,579,766	47,419,666	
診療所附属設備	-	-	20,109,157	1,060,637	12,842,958	
計			2,427,325,669	61,714,658	968,398,467	

(3) 構築物

種別	明細	取得価額(円)	減価償却額(円)	帳簿価額(円)	備考
校舎構築物	庭園・外構 他	81,115,159	708,028	4,820,568	
診療所構築物	舗装工事・看板 他	1,219,324	0	3	
計		82,334,483	708,028	4,820,571	

(4) 教育用機器

種別	明細	帳簿価額(円)	備考
教具	四国医療専門学校	20,029,697	
診療機器	桃陵クリニック	13,617,507	
計		33,647,204	

(5) 什器備品

種別	明細	帳簿価額(円)	備考
工具	四国医療専門学校(法人本部含む)	173,241,590	
器具	桃陵クリニック	1,372,757	
器具	訪問看護ステーションファミリア	211,640	
計		174,825,987	

(6) 図書

種別	明細	帳簿価額(円)	備考
教育用書籍	教員希望図書 他	189,757,952	
計		189,757,952	

(7) 車両

種別	明細	台数	取得価額(円)	減価償却額(円)	帳簿価額(円)	備考
乗用車	四国医療専門学校(法人本部含む)	2	1,860,000	16,667	83,334	
乗用車	訪問看護ステーションファミリア	4	3,919,335	984,288	1,666,041	
計			5,779,335	1,000,955	1,749,375	

(8)その他基本財産

種別	価額(円)	備考
退職給与引当特定資産	233,100,214	
減価償却引当特定資産	77,391	
施設拡充引当特定資産	2,109,711,455	
電話加入権	292,752	
長期有価証券	1,410,016,473	
収益事業元入金	600,000,000	
差入保証金	2,815,000	
出資金	6,615,000	
損害保険積立金	23,795,200	
計	4,386,423,485	

2.運用財産

(1)現金預金

預貯金種別	預入先	金額(円)	備考
普通預金	香川銀行	1,039,015,449	
現金	-	775,212	
計		1,039,790,661	

(2)その他運用財産

種別	金額(円)	備考
未収入金	11,738,613	
短期有価証券	7,673,499	
前払金	5,115,211	
立替金	2,200	
仮払金	20,240	
収益部門勘定	10,471,142	
計	35,020,905	

【2.負債】

1.固定負債

種別	金額(円)	備考
長期借入金	116,650,000	
退職給与引当金	224,704,120	
計	341,354,120	

2.流動負債

種別	金額(円)	備考
未払金	25,478,434	
前受金	38,100,000	
預り金	400,970	
仮受金	93,000	
計	64,072,404	

監 査 報 告 書

令和 7年 5月 13日

学校法人大麻学園
理事会 御中

学校法人大麻学園

監 事 高 嶋 博 

監 事 平 田 道 一 

私たちは、学校法人大麻学園（以下「学園」という。）の監事として、私立学校法第52条及び学園寄附行為第32条に基づいて学園の令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書）を含め、学園の業務及び財産の状況に関し監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席するほか、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

監査の結果、私たちは、学園の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないこと及び学園の業務に関する執行は適切であることを認めました。

以上

(7) その他

○役員賠償責任保険の加入状況

販 売 者：一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

保険会社：東京海上日動火災保険（株）[代理店：（株）第一成和事務所]

保険期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

保 険 金：3億円（保険期間中の総支払限度額）